DMO候補の登録開始

観光庁 計画書受け付け

観光庁は12月15日、日本版DMO（観光地域マネジメント・マーケティング組織）候補法人の登録申請の受け付けを開始した。登録法人に対しては、地方創生の新型交付金をはじめ、関係省庁と連携した重点的な支援を行う方針。

新型交付金などで支援

候補法人登録制度では、既存、新規の法人を問わず、地域でDMOの役割、機能を担おうとする法人が、DMO形成・確立計画を作成し、地方公共団体との連名で提出する。登録対象の法人は、申請時点で発足していなくても構想段階で申請できる。

登録の区分は、複数の都道府県にまたがった区域を対象とする「広域連携DMO」、複数の市町村にまたがった区域を対象とする「地域連携DMO」、単独の市町村を区域とする「地域DMO」。

登録の要件は五つ。①DMOを中心として観光地域づくりを行うことに関する多様な関係者の合意形成②データ収集、戦略策定、KPI（重要業績評価指標）設定、PDCAサイクル導入の実施③関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整など④法人格、専門人材などを備えた組織⑤収益事業や法定外目的税、分担金などの安定的な運営資金の確保―。いずれも計画段階で登録できる。

登録法人に対しては、観光庁をはじめ関係省庁で構成する「『日本版DMO』を核とする観光地域づくりに対する関係省庁連携支援チーム」を通じて重点的な支援を行う。登録法人は、政府のまち・ひと・しごと創生本部が運用する新型交付金の支援対象にもなり得る。

観光庁では登録申請は随時受け付けるが、新型交付金の交付対象の選定スケジュールに関連して、必要な時期に登録状況を一度集約する予定。

DMOや候補法人の登録制度については、観光庁ホームページの日本版DMOのページ（http://www.mlit.go.jp/kankocho/page04_000053.html）で紹介している。【尚野悟】

定住誘発DMO構築へ

氷見市 業務委託先を公募

富山県氷見市は、観光振興と定住促進を一体的に推進する組織として、「定住誘発型DMO」の構築を目指している。構築への取り組みは、政府の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）先駆的事業分」の交付対象にもなっている。組織設計に関わる業務委託先の事業者の募集を12月16日に開始した。

氷見市では、定住誘発型DMOの構築に関して、観光と定住の魅力、両方を高めるための組織・機能づくりを想定。従来型の観光だけでなく、氷見の暮らしなどを来訪者に体験してもらい、移住、定住につなげたい考えだ。

組織のあり方としては、観光と定住のマネジメントの一本化を目指している。個々の団体がそれぞれに実施している観光、定住に関する業務を横断的に実施できるようにする。

組織設計に関わる事業者募集の委託業務の内容は、①定住誘発型DMO構想の明確化②DMOの設計と試行③DMOの組織構築のための協議会の発足と協議会の事務局運営―の三つを想定。この中でDMOが収益を得る仕組みも検討。定住を誘発する仕掛けも試行的に実施する。

業務委託先は公募型プロポーザル方式で決定する。参加申し込みの受け付けが12月24日まで。企画提案書の受け付けが12月25日まで。

問い合わせ先は、氷見市地方創生と自治への未来対話推進課☎0766（74）8011。

旅館協会東北の11月宿泊実績

人員、売り上げ微増

2015年11月の宿泊実績（前年同月比）

	回答施設数（軒）	宿泊人員（%）	売り上げ（%）
青森県	15	108.8	112.8
岩手県	24	98.7	101.3
秋田県	4	83.7	89.2
宮城県	21	99.1	97.1
山形県	21	107.5	109.3
福島県	15	96.9	97.3
合計	100	100.3	101.6

日本旅館協会東北支部連合会はこのほど、会員旅館を対象にした宿泊実態調査の2015年11月の結果をまとめた＝表。東北6県の合計では、前年同月の実績に対して宿泊人員が0・3%増、売り上げが1・6%増となった。

回答施設数は東北6県に所在する100軒。

宿泊人員が前年同月を上回ったのは青森（8・8%増）、山形（7・5%増）の2県。売り上げが前年同月を上回ったのは青森（12・8%増）、山形（9・3%増）、岩手（1・3%増）の3県だった。

全体的には天候に恵まれた日が多く、自治体が発行したプレミアム旅行券などがプラス要因と考えられる。14年11月には土曜を含めた3連休が2回あったが、15年11月は1回だったことなどもあり、伸び悩んだ地域も見られたようだ。

千葉県

早春キャンペ 3月まで展開

千葉県は12月1日、早春観光キャンペーン「魅力いっぱいギュッと千葉」を開始した。例年は年明けの1月から実施しているが、今回はJR東日本千葉支社の「房総観光キャンペーン～ちょっとひと息、房総休日～」の開催に合わせてスタート時期を早めた。咲き誇る花々、旬の味覚イチゴなど、ひと足早く春を迎える千葉県の観光をアピールする。期間は来年3月31日まで。

県内の観光施設や飲食店、宿泊施設など約430カ所で利用できるお得なウェルカムチケットが付いたパンフレットを作成。JR東日本の主要駅、NEXCO東日本のサービスエリアなどで配布する。通常版は6万部、JR設置版は18万部を発行する。

鉄道と貸切タクシーで楽しむ「ちばの旅」も提案する。首都圏発のJR定期列車に乗車後、館山、安房鴨川、勝浦、大原、大網、銚子の各駅からタクシーで観光スポットを巡る日帰り6コース。実施期間は12月11日から来年2月28日まで。

千葉県のフルーツやスイーツが停車駅や車内で楽しめるイベント列車も運行される。南房総方面（両国発着）では1月9日に「ぐるっとMINAMIBOSOスイーツトレイン」、北総方面（新宿発着）では2月13日に「ぐるっとHOKUSOスイーツトレイン」を運行する。

キャンペーンをPRするため、千葉県のキャラクター「チーバくん」などがデザインされたラッピング列車をJR東日本の中央総武線に運行している。運行期間は来年2月27日まで。

JR東日本千葉支社の房総観光キャンペーンは、千葉県のキャンペーンより約1カ月早く2月29日まで。

沖縄観光コンベンションビューロー

与那国島の魅力紹介 旅行業担当者を招請

沖縄観光コンベンションビューローは12月13～16日、離島観光活性化促進事業で旅行会社を招請し、与那国島（与那国町）で現地研修を実施した。参加した旅行会社は、近畿日本ツーリスト個人旅行、日本旅行、ジャルパックの沖縄担当者。

同事業は、沖縄本島周辺の15離島と、久米島、多良間島、与那国島への誘客を促進するのが目的。2015年9月から16年2月までの期間に島ごとに沖縄県外の旅行会社やメディアなどを招請し、島内の観光資源をPRしている。

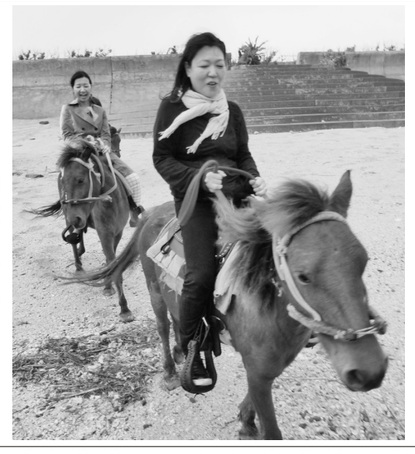
与那国島は、人気観光エリアの八重山諸島にあり、日本最西端の地があるほか、朝日と夕日の両方が鑑賞できる。

観光資源も魅力的で、南東の海中にある岩塊は、「海底遺跡」として調査が続いている。半潜水艇やグラスボートで観光が可能なほか、ダイビングスポットとして人気になっている。

島内には、テレビドラマ「Dr.コトー診療所」のロケセット、世界最大の蛾、アヤミハビル（ヨナグニサン）を紹介するアヤミハビル館などの観光施設もある。

島内で放牧されている天然記念物の与那国馬は見学ができるほか、乗馬体験もできる。乗馬でビーチを散策したり、夏場は海にも入ったりできる珍しい体験メニューとなっている。

味覚ではカジキマグロのほか、60度という高い度数で特別に生産されている泡盛（花酒）などがある。



与那国馬の乗馬体験

茨城・真壁地区で人気のひなまつり

2月4日から

国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている茨城県桜川市の真壁地区で2016年2月4日～3月3日、「真壁のひなまつり」が行われる。

約150軒の商家、民家に江戸から現代までのさまざまなお雛様が飾られる。

中国シルクロード観光年

芸術、世界遺産PR

札幌で特別展

来賓らが参加してテープカットを行った

「中国シルクロードロード観光年キャンペーンin札幌　伝統と創生～現代中国芸術及び世界遺産特別展」が12月15～18日、札幌市の市民ギャラリーで開催された。現代中国芸術の第一線で活躍する新進作家の絵画200点と、シルクロードや万里の長城など中国が誇る世界遺産の写真パネル96点が展示された。

中国国家観光局駐日本代表処などが、2016年にかけて展開するシルクロード観光年のPR活動の一環として企画。来場者には世界遺産を紹介したパンフレット、花や鳥、山水などを描いたカレンダーを配布し、中国観光の魅力をアピールした。

初日に行われた開幕式には、孫振勇中国駐札幌総領事、高橋はるみ北海道知事、近藤龍夫北海道観光振興機構会長らの来賓をはじめ、約100人の市民が参加。テープカットが行われたほか、中国各地から来道した17人の作家による実演も行われた。

あいさつに立った高橋知事は、日本の観光関係者約3千人が北京を訪問した15年5月の観光交流行事に触れながら、「両国は長年にわたりさまざまな交流を重ねてきた地域。相互の友好交流や協力関係をしっかり発展させなければならない」と述べた。

北海道観光振興機構の近藤会長も「中国には素晴らしい名勝や学ぶところが多くあるので、北海道からもたくさんの人たちに訪問してもらいたい」と語った。

特別展には多くの市民が来場。中国各地の新進作家の力のこもった絵画を鑑賞し、世界遺産の迫力ある写真パネルに見入っていた。札幌市白石区の女性は「中国文化の奥深さを実感した。日本から多くの留学僧が訪れ、さまざまな知識や文化を学んだ西安などの古都をゆっくり見て回りたい」と話していた。

地域観光

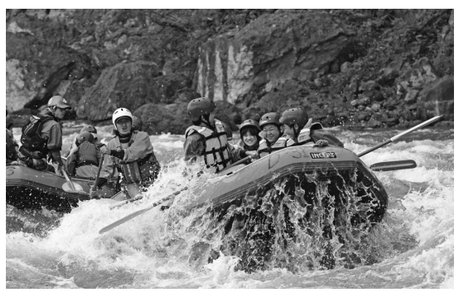
体験型観光の現場〈462〉

体験交流で人間性回復

路上を歩きながらも、自転車に乗りながらも、スマホ（スマートフォン）を操作している。都心の電車の中の7、8割の人がスマホを黙々といじっている。インターネットのショッピングサイトやニュースなどの情報を見ている人、メールを打っている人、ゲームをしたり音楽を聞いたりしている人などさまざまである。

いずれにも当てはまらない私は、車内吊り広告のチェックと車窓からの風景、乗っている人間ウオッチングである。また、知人との同乗の場合はもっぱら世間話をしている。私のような人たちは別だが、人間関係ならず、スマホ関係ばかりが進むことになる。

高校生の女子は1日平均7時間、男子は平均4時間も〝スマホ関係〟に陥っている。携帯電話を持っていない人やガラケー使用者に比べて、睡眠不足で体調不良や精神的にもイライラするなどの割合が高く、学力低下につながっていることは調査で明らかになっている。



越後田舎体験による信濃川ラフティング

大手の家電量販店の1階売り場はスマホの合戦上と化している。もちろん利便性は高く、情報化社会のツールとしては欠かせない存在であるが、1日は万民に等しく24時間しかなく、使用時間が拡大すればその分、家族や友人、あるいは仕事の仲間との直接のコミュニケーションが格段に少なくなっていく。人間的な時間の削減になりかねない。

職場の中でも、立ち上がって数歩の席の人や向かいに座る人までも、話せば用件が済むのに、メールで送って要件を伝えるという話が笑い話ではなく、日常話となっている。程度の問題であると同時に、価値ある時間の別の過ごし方を提案して拡大しなければならない。

大自然の中でのトレッキングやカヌー、ラフティングなどのアウトドアスポーツに興じている時は「没頭」している。農林水産業などの体験は、知らないことを知る喜びに加えて、役に立ちたいという自己の存在欲求を満たしてくれる。味覚体験では生産地ならではの鮮度と、料理の仕方、おいしい食べ方を習得しお腹も満たしてくれる。インストラクターや体験者同士のコミュニケーションも必然的に深まり、心が豊かになる。さらには、田舎の山積する課題解決と、体験する側である企業組織などの課題解決とをマッチングさせたCSR（企業の社会的責任、社会貢献）が進んでいくことになる。

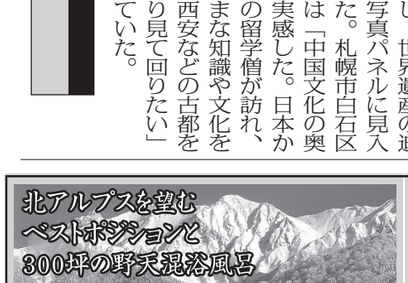
体験交流は多くの問題を凌駕する。人間力の養成と自己確立の特効薬である。スマホ社会の日本人の定期健康診断と治療を兼ね、田舎や大自然での体験交流でリフレッシュし、人間性の回復の場にしてほしい。

（体験教育企画社長・藤澤安良）

北アルプスを望む
ベストポジションと
300坪の野天混浴風呂

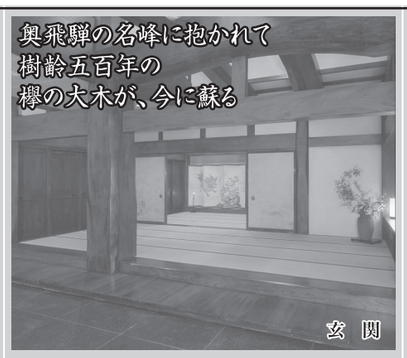
槍ヶ岳と山のホテル

混浴露天風呂


暖炉のあるラウンジ

新穂高温泉 穂高荘山のホテル

奥飛騨の名峰に抱かれて
樹齢五百年の
欅の大木が、今に蘇る

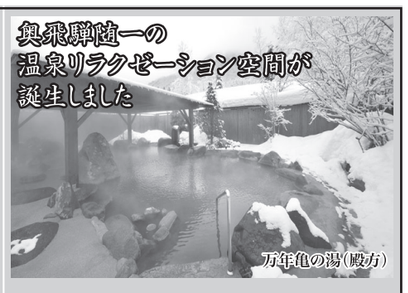

玄関

女性専用露天風呂

飛騨の間

新穂高温泉 穂高荘山月

奥飛騨随一の
温泉リラクゼーション空間が
誕生しました


万年亀の湯（殿方）

千年鶴の湯岩盤浴（ご婦人）

貸切り露天風呂

平湯温泉 穂高荘山かの湯

ご予約お問合せは
穂高荘ホテルズ・リゾート　営業本部予約センター
〒506-0009　岐阜県高山市花岡町1丁目5-5
TEL.0577-37-1515　FAX.0577-33-5793
ホームページアドレス
http://www.hodakaso.co.jp

新潟県最大級の
庭園大露天風呂
が自慢です！

人気温泉旅館ホテル250選 入選・5つ星の宿認定

新潟県/村杉温泉
日本屈指のラジウム温泉！
風雅の宿 長生館

アンチエイジングの
第一人者
白澤卓二先生
おススメの宿

風雅の宿 長生館
〒959-1928　阿賀野市村杉温泉
TEL.0250-66-2111
http://chouseikan.co.jp

新潟地酒の宿　コラボ企画スタート！
新潟厳選美味少量会席
×白龍酒造「長生乃泉」

開湯約700年の歴史を持つ温泉旅館です。全国でも数が少なく貴重なラジウム温泉を県内最大級の広さを誇る庭園大露天風呂や趣の異なる3棟の貸切露天風呂でお楽しみ下さい。全室から四季折々の風情が豊かな4,000坪の大庭園を眺められ、お料理は季節の旬と地元食材にこだわり、創意工夫と技巧を凝らした全て手作りの和会席料理をご堪能いただけます。